unicef Teachers' Network通信

T・NET通信

ティー ネット

2001 AUTUMN

No.19

発　行

財団法人　日本ユニセフ協会　学校事業部

〒108-8607　東京都港区高輪4-6-12　ユニセフハウス　TEL:03-5789-2014　FAX:03-5789-2034

ホームページ　http://www.unicef.or.jp　募金口座◎郵便振替・00190-5-31000・（財）日本ユニセフ協会

Global Movement for Children
グローバル・ムーブメント・フォー・チルドレン

子どものために世界ができること

1989年に採択された「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」は、法律としてはじめて子どもを権利の主体ととらえ、子どものための行動が人類の責任であることを明言した画期的な条約でした。この条約採択の勢いを受けて開催されたのが1990年の「子どものための世界サミット」です。歴史上最多の世界71ヶ国の首脳が参加し、2000年までに達成すべき意欲的な行動目標が定められました。世界は子どもたちのために何かができる、当時の世界はそんな意気込みにあふれていました。

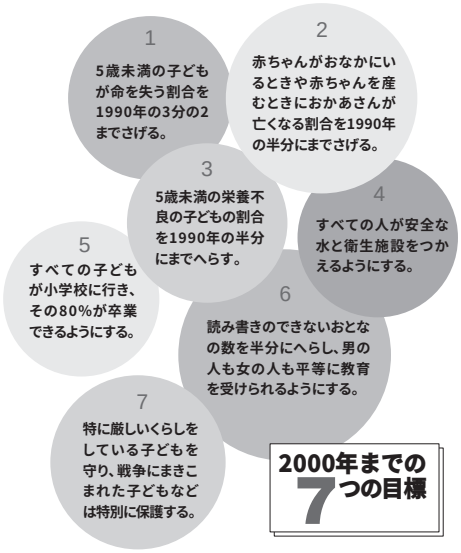
2001年8月現在、アメリカ合衆国とソマリアを除く191の国と地域がこの条約を締結しており、子どもの権利を守る、という言葉は当たり前のことになったかのようにも見えます。しかし、この10年、私たちは子どものために同じ思いを持ち続けてこられたのでしょうか？ ユニセフは他の国際機関とともに、世界の人びとの子どもたちへの関心を呼び覚まそうと、"グローバル・ムーブメント・フォー・チルドレン-Global Movement for Children〝という運動を開始しました。今回は、この地球規模の運動の様子をお伝えします。

©UNICEF

目標は達成されたのか？

「子どものための世界サミット」が定めた目標は、この10年で達成されたのでしょうか？

2000年の5歳未満児死亡率は世界の平均で出生1000人当り81人。特に開発途上国の5歳未満児死亡率は、この10年で102人から90人と減ったものの、3分の2とされた目標には達していません。



しかし、ポリオは、予防接種の広まりによって根絶目前になり、10年前にくらべてほぼ99%減らすことができました。その他の予防接種事業、下痢性の病気の予防、ヨード欠乏症対策も大きな進歩を遂げています。

国によっても達成状況は異なります。目標の多くが達成間近になっている国がある一方、紛争、HIV/エイズの拡大、経済危機などのために1990年当時よりも深刻な事態を迎えている国もあります。

今また世界規模の連帯を！

“たったひとりも、たった1日も、私たちの大切な子どもたちを無駄にすることはできません。子どものための行動を起こすことに、私たちはあまりに長い年月を無為に過ごしてきてしまったのです”

ユニセフとともに子どものための活動を続けてきたネルソン・マンデラ氏（南アフリカ前大統領）とグラサ・マシェル氏（元モザンビーク教育相）は、このようなメッセージを発信し、各国政府、国際機関、市民社会、民間団体などすべてのリーダーに向けて、子どものための地球規模の運動をつくりあげようと呼びかけました。

ユニセフは、他の国際機関とともに、このメッセージを全世界に届け行動を起こしてもらうようはたらきかける運動をはじめました。 それが、"グローバル・ムーブメント・フォー・チルドレン(子どものための地球的規模の連帯)" です。

この運動を一般の人びとからも盛り上げていこうと、署名活動『セイ・イエス・フォー・チルドレン - Say Yes for Children』が世界中で行われました。これは、次の10項目に賛同を表すためのものです。

- ●子どもをひとりとして差別しない
- ●子ども最優先
- ●すべての子どものためのケア
- ●HIV/AIDS（エイズ）との闘い
- ●子どもへの虐待や搾取をやめさせる
- ●子どもの声に耳を傾ける
- ●すべての子どもに教育を
- ●子どもたちを紛争から守る
- ●子どもたちのために地球を守る
- ●貧困との闘い：子どもへの投資

日本ではこの趣旨に基づき、3つの国際条約(＊)の署名・批准を日本政府にはたらきかける、という目標を掲げ、7月まで署名活動が行われました。日本ユニセフ協会に集まった署名は本年秋の国会へ提出される予定です。

＊ A「子どもの売買、子ども売買春および子どもポルノグラフィーに関する子どもの権利条約の選択議定書」、 B「武力紛争への子どもの関与に関する子どもの権利条約の選択議定書」、 C「国際刑事裁判所設立規程」

unicef 国際連合児童基金